

コロナ社会対応ビジネスモデル創造事業補助金実績報告（公開用）

令和3年2月28日

項目	内容
事業者名	会社名：トスレック株式会社 代表者職名・氏名：代表取締役 三笠日郎
補助事業テーマ	長寿命改質オゾン UFB を活用した新型コロナウイルス殺菌・抗菌水の事業化検討
事業実施期間	令和2年9月9日 ～ 令和3年2月28日
事業の目的	<p>① アルコールや塩素系成分を使用しない新しいオゾン水の開発</p> <p>② 除菌や抗菌性を維持したまま、新型コロナウイルス殺菌効果検証</p> <p>③ 流通性あるボトルスプレーによる商品化</p>
事業の実績(成果)	<p>① <u>アルコールや塩素系成分を使用しない新しいオゾン水の開発</u> ベンチスケール装置改造：循環式密閉型 UFB 装置を改造。 食品添加用の高粘剤添加率を最適化。 新製法：「特願 2020-172527 号」特許出願。 溶存オゾン水濃度半減期：(従来常温)約 30～40 分→1 ヶ月間へ延長可。 溶存オゾン濃度：約 8mg/L で安定維持可。</p> <p>② <u>除菌や抗菌性を維持したまま、新型コロナウイルス殺菌効果検証</u> 試験期間：一般財団法人 日本繊維製品品質技術センターを利用。 試験方法：JIS L 1922「繊維製品の抗ウイルス性試験方法」準用。 試験対象：市販マスク用の不織布シート。 シートへ当該抗菌液を含浸し、48 時間乾燥後、ウイルス滴下。 試験結果：ウイルス減少率 99.9%を確認。</p> <p>③ <u>流通性あるボトルスプレーによる商品化</u> UFB 製造技術を用いて、ボトルスプレーでの高濃度オゾン水の 長期保存(製品使用期限@常温：3 ヶ月間)を実現。 今春、「改質オゾン UFB 水」を商品名「オゾファイン」で販売予定。 特長：無香料無色、除菌・抗菌・消臭効果、塩素系成分不使用、 アルコールフリー、刺激性なし、保湿効果。 用途：マスク、ふきん、タオル、スポンジ、まな板、布製品など</p>
今後の展望	<p>ウイルス殺菌後、酸素に直ぐに戻る安全な「オゾファイン」で、身近なマスクを除菌および抗菌し、安心・安全な京都観光の地を取り戻す為、お客様健康第一の視点で、物理的接触面や化学的殺菌面、ウイルスの微生物的挙動などを正確に把握した上で、様々な使用環境条件下での殺菌効果検証結果データを積み上げて、お客様へ信頼されるものづくり体制を構築していきたい。</p>